

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学I」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までの間で、幅をもたせて設計している授業科目がある。) 4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間・社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができ	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。	既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。				
主履修分野のカリキュラム											
科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4				
21101	グローバル化時代の人間科学	グローバル化の意味とその現代社会への影響を理解し、現代社会特有の問題を自ら発見できるようにする。	2					○	○		○
21104	哲学概論A	現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。	1~4	*	*			◎			
41348	哲学概論B	現代哲学の諸問題をその基礎概念も含めて検討し、現代哲学の発想と主張を理解する。	1~4			*	*	◎			
41349	人間学概説A	人間の可塑性、柔軟性、後天性を、人間の本質として理解する。	1~4	*	*			○			
41350	人間学概説B	人間の可塑性、柔軟性、後天性を、人間の本質として理解する。	1~4			*	*	○			
41302	西洋古代中世思想史A	西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	2~4			*	*	◎			
41303	西洋古代中世思想史B	西洋古代・中世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	2~4	*	*			○			
41304	西洋近世思想史A	西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	1~4	*	*			◎			
41305	西洋近世思想史B	西洋近世の哲学史を学び、哲学思想の発展・継承を理解する。	1~4			*	*	○			
41306	西洋倫理思想史A	倫理学の歴史(特に古代・中世の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。	2~4	*	*			◎			
41307	西洋倫理思想史B	倫理学の歴史(特に近現代の歴史)を学び、哲学的諸問題の史的展開や哲学者相互の影響関係を学ぶ。	2~4			*	*	○			
41351	現代哲学	現代の哲学的論争における特定のテーマについて、論点と議論を網羅的に理解した上で、自分の立場を明らかにできる。	2~4			*	*	○	○		
41312	応用倫理学	環境倫理について、その基本的主張や規範倫理との相違点を学ぶ。	2~4	*	*			◎		○	
41352	西洋古代中世哲学特殊講義	古代・中世倫理思想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2~4						○	○	
41353	近現代哲学特殊講義	現代の哲学者の思想についてその独自性や影響関係を理解する。	2~4			*	*		◎	○	○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)									
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>									
学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)		コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)									
<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学I」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までの間で、幅をもたせて設計している授業科目がある。) 4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。	既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。				
主履修分野のカリキュラム											
科目番号	授業科目	学生目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4				
41317	古代中世倫理想特殊講義	西洋古代・中世の倫理想に関わる特定の問題について現代の問題への適用可能性も視野に入れつつ深く理解する。	2~4						○	○	○
41354	近現代倫理想特殊講義	現代の倫理想の特定の問題について、その特質や影響関係を理解する。	2~4	*	*				○	○	○
41355	人間学基礎講義A	哲学的人間学に関する基礎知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	2~4			*			○	○	
41356	人間学基礎講義B	哲学的人間学に関する基礎知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	2~4				*		○	○	
41357	人間学特殊講義A	哲学的人間学に関する発展的知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	2~4			*			◎	○	
41358	人間学特殊講義B	哲学的人間学に関する発展的知識を学び、哲学の問題に独自の視点や解釈する力を身につける。	2~4				*		◎	○	
41359	西洋古代中世哲学基礎演習A	古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4						◎	○	○
41360	西洋古代中世哲学基礎演習B	古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4						○	○	○
41361	西洋古代中世哲学演習A	古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4						◎	○	○
41362	西洋古代中世哲学演習B	古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4						○	○	○
41363	西洋古代中世哲学研究演習A	古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4						○	○	○
41364	西洋古代中世哲学研究演習B	古代・中世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4						○	○	○
41365	近現代哲学基礎演習	西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4			*	*		○	○	

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)				コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)													
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造・思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人ひとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 				<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化・思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>													
<p>学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)</p> <p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」「哲学概論A・B」「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」「社会統計学I」「論理学」「人間学基礎講義」「地域調査基礎演習」「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」「西洋古代中世哲学特殊講義A」「人間学特殊講義」「地域調査応用演習」「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までの間で、幅をもたせて設計している授業科目がある。) 4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>				<p>コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <table border="1"> <tr> <td>人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。</td> <td>自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。</td> <td>既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。</td> <td>現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。</td> <td>対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。</td> <td>情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。</td> </tr> </table>								人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。	既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。
人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。	既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。												
主履修分野のカリキュラム																	
科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4										
41366	近現代哲学演習	西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4	*	*			○		○	○						
41367	近現代哲学研究演習	西洋近世の哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4					○	○	○	○						
41368	倫理想基礎演習A	倫理学に関する基礎的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4					◎		○							
41369	倫理想基礎演習B	倫理学に関する基礎的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4					◎		○							
41370	倫理想演習A	倫理学に関する一般的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4	*				○		○	○						
41371	倫理想演習B	倫理学に関する一般的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4		*			○		○	○						
41372	倫理想研究演習A	倫理学に関する発展的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4					○		○	○						
41373	倫理想研究演習B	倫理学に関する発展的な知識・考え方を、原典を読解することで身につける。	2~4					○		○	○						
41374	応用倫理学基礎演習A	応用倫理学に関する文献の読解を通じて、応用倫理の基礎概念を学び、倫理的思考とはいかなるものかを理解する。	2~4			*		◎		○							
41375	応用倫理学基礎演習B	応用倫理学に関する文献の読解を通じて、応用倫理の基礎概念を学び、倫理的思考とはいかなるものかを理解する。	2~4				*	◎		○							
41376	応用倫理学演習A	応用倫理学に関する文献の読解を通じて、従来の規範的倫理学に還元されない応用倫理学の原理、視点を理解する。	2~4					○	○	○	○						
41377	応用倫理学演習B	応用倫理学に関する文献の読解を通じて、従来の規範的倫理学に還元されない応用倫理学の原理、視点を理解する。	2~4					○	○	○	○						
41378	応用倫理学研究演習A	応用倫理学に関する文献の読解を通じて、従来の規範的倫理学に還元されない応用倫理学の原理、視点を理解する。	2~4					○	○	○	○						
41379	応用倫理学研究演習B	応用倫理学に関する文献の読解を通じて、従来の規範的倫理学に還元されない応用倫理学の原理、視点を理解する。	2~4					○	○	○	○						

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)				コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)																																																																																																																																																																																			
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集、調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 				<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>																																																																																																																																																																																			
<p>学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)</p> <p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学1」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までの間で、幅を持たせて設計している授業科目がある。) 4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>				<p>コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p>																																																																																																																																																																																			
<p>主履修分野のカリキュラム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目番号</th> <th>授業科目</th> <th>学生の学習目標</th> <th>学年</th> <th>Q1</th> <th>Q2</th> <th>Q3</th> <th>Q4</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41380</td> <td>人間学基礎演習A</td> <td>・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。</td> <td>2~4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>41381</td> <td>人間学基礎演習B</td> <td>・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。</td> <td>2~4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>41382</td> <td>人間学演習A</td> <td>・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。</td> <td>2~4</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41383</td> <td>人間学演習B</td> <td>・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。</td> <td>2~4</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41384</td> <td>人間学研究演習A</td> <td>・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。</td> <td>2~4</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>41385</td> <td>人間学研究演習B</td> <td>・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。</td> <td>2~4</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>31001</td> <td>卒業論文演習A</td> <td>・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。</td> <td>4</td> <td>*</td> <td>*</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31002</td> <td>卒業論文演習B</td> <td>・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> <td></td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>31003</td> <td>卒業論文</td> <td>・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>*</td> <td>*</td> <td></td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11057</td> <td>人文学序説A</td> <td>・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)、サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。</td> <td>1</td> <td>*</td> <td></td> <td>(*)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11058</td> <td>人文学序説B</td> <td>・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。</td> <td>1</td> <td></td> <td>*</td> <td>(*)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4								41380	人間学基礎演習A	・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。	2~4					◎		○					41381	人間学基礎演習B	・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。	2~4					◎		○					41382	人間学演習A	・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○		○				○	41383	人間学演習B	・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○		○				○	41384	人間学研究演習A	・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○	○	○				○	41385	人間学研究演習B	・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○	○	○				○	31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*	*				◎						31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4			*	*		◎						31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4			*	*		◎						11057	人文学序説A	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)、サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。	1	*		(*)				○					11058	人文学序説B	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	(*)				○				
科目番号	授業科目	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4																																																																																																																																																																																
41380	人間学基礎演習A	・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。	2~4					◎		○																																																																																																																																																																													
41381	人間学基礎演習B	・哲学的人間学の基礎を学び、その特質を理解する。	2~4					◎		○																																																																																																																																																																													
41382	人間学演習A	・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○		○				○																																																																																																																																																																									
41383	人間学演習B	・哲学的人間学を、原典読解を通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○		○				○																																																																																																																																																																									
41384	人間学研究演習A	・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○	○	○				○																																																																																																																																																																									
41385	人間学研究演習B	・哲学的人間学を、原典読解とプレゼンを通じて学び、その特質を理解する。	2~4			*		○	○	○				○																																																																																																																																																																									
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*	*				◎																																																																																																																																																																														
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4			*	*		◎																																																																																																																																																																														
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4			*	*		◎																																																																																																																																																																														
11057	人文学序説A	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)、サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。	1	*		(*)				○																																																																																																																																																																													
11058	人文学序説B	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	(*)				○																																																																																																																																																																													

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	人間科学コース(哲学・人間学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)		コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)																																				
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを正確に読解することができる。 2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。 3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。 4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。 5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。 6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。 		<p>人間科学コースでは、人間の行動・思想・文化、思考・創造・歴史・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする人間科学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような人間科学コースの学習成果を上げた者とする。</p>																																				
<p>学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)</p> <p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、人間科学を構成する3つの専門分野における、分野全般を概観する「社会学概論A」、「哲学概論A・B」、「地理学概論A・B」を選択し学ぶことが推奨される。2年次には、専門分野の基本的考え方や基礎技術を習得するための「社会調査演習」、「社会統計学I」、「論理学」、「人間学基礎講義」、「地域調査基礎演習」、「地域調査基礎実習」などを学ぶ。3年次には、さらに高度な方法論や知識を修得するために「社会学調査実習」、「西洋古代中世哲学特殊講義A」、「人間学特殊講義」、「地域調査応用演習」、「地域調査応用実習」などを学ぶ。(ただし、経過選択を可能としているので、各自の到達水準によって、履修時期を1年次から主として3年次までの間で、幅をもたせて設計している授業科目がある。) 4年次には、「卒業論文演習A・B」での指導を受け、自分の研究を「卒業論文I」にまとめる。これらに加え、2~4年次を通じて、人間科学および他の人文諸学の領域の基礎知識や最新トピックを講義および演習を通じて学ぶ。</p>		<p>コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <table border="1"> <tr> <td>人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。</td> <td>自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。</td> <td>既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。</td> <td>現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。</td> <td>対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。</td> <td>情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。</td> </tr> </table>		人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。	既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。																													
人間科学を構成する各専門分野の学習を通じて、人間社会・環境についての総合的・多面的な理解を得ることができる。	自ら課題を設定し、その解決のために適切な方法論を構築し、合理的な結論を導くことができる。	既存の資料や文献の批判的検討を通じて独自の分析視点を構築できる。	現代社会が抱える様々な問題に対してフィールドワークや資料分析、文献理解を通じて的確にアプローチすることができる。	対象に応じて質的・計量的な分析方法を取捨選択し、適切な分析をおこなうことができる。	情報収集や分析、考察の結果について、口頭や文書などで報告することができる。																																	
<p>主履修分野のカリキュラム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目番号</th> <th>授業科目</th> <th>学 年</th> <th>Q 1</th> <th>Q 2</th> <th>Q 3</th> <th>Q 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11059</td> <td>人文学序説C</td> <td>1</td> <td>(*)</td> <td>*</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11060</td> <td>人文学序説D</td> <td>1</td> <td></td> <td>(*)</td> <td>*</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11061</td> <td>学類共通英語A</td> <td>3</td> <td>*</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11062</td> <td>学類共通英語B</td> <td>3</td> <td></td> <td>*</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		科目番号	授業科目	学 年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	11059	人文学序説C	1	(*)	*			11060	人文学序説D	1		(*)	*		11061	学類共通英語A	3	*				11062	学類共通英語B	3		*				
科目番号	授業科目	学 年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4																																
11059	人文学序説C	1	(*)	*																																		
11060	人文学序説D	1		(*)	*																																	
11061	学類共通英語A	3	*																																			
11062	学類共通英語B	3		*																																		

※ (*)は年度によって開講時期が異なることを示します。